

郷土守山に学ぶ研修講座

第1回 令和5年5月20日（土）実施

実施場所：ほたるの森資料館

研修講師：館長

研修内容：ほたるの森資料館 学習室でのVTR等を交えた説明
ほたるの森資料館周辺で解説をまじえフィールドワーク

参加人数 8人

第2回 令和5年6月16日（金）実施

実施場所：蓮正寺・薬師堂とその周辺

研修講師：蓮正寺住職および文化財保護課職員

研修内容：蓮正寺とともに三宅町・薬師堂を訪れ、
守山の仏教文化の歩みを探る。

参加者人数 20人

参加者の感想から

- 楽しい半日でした。貴重なお話と薬師堂の見学はよかったです。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 2度にわたって三宅を訪れる機会をいただき感謝です。地元の人たちは、天台を受け入れ蓮如を受け入れ伝えつつ、大正11年には新たなお堂を建立したとのこと。人々の信心と共に生きる様子を垣間見ることができました。



第3回 令和5年10月18日（水）実施

実施場所：佐川美術館

研修講師：藤井 康憲 学芸員

研修内容

- 研修1 専門学芸員からよりよく楽しむための作品紹介。
- 研修2 特別展（サグラダファミリア展）を含む館内見学。

参加者人数 7人

参加者の感想から

- 学芸員さんのご説明が大変興味深く、平山郁夫作の絵画が好きになりました。各々の質問にも丁寧にお話いただいたのは印象に残りました。
- 佐川美術館といえば平山氏の絵でしたが、今回、その説明を聞きよくわかりました。平和への願いが祈りとして表されていることは、とても大事なことで共感しました。



第4回 令和5年12月7日(木)実施

実施場所：蜷江神社

研修講師：蜷江神社総代、琵琶湖文化館主任学芸員、文化財保護課職員

研修内容

神と仏が同居し、ともに祀られる日本特有の宗教文化とされる「神仏習合」の形。蜷江神社は、社殿と仏堂が同居する神仏習合の景観をとどめている。この蜷江神社の歴史と文化財を通して、守山の神仏習合の歴史を探る。

参加者人数 20人

参加者の感想から

- 存在も知らない神社でしたが、歴史好きにはとても興味深い神社だということが分かりました。神像の実物を見られたのは貴重な経験ができたのでうれしかったです。
- 初めて参加しましたが、とても分かりやすく、また、総代の方も説明があり1時間30分では深く掘り下げられず残念でした。フィールドワークに行くことで、新しい発見ができてとても有意義な時間でした。ありがとうございます。

